

## 第1章 定番SNSで会話させる

# 実験①… 自作IoT端末でLINE

ご購入はこちら

中村 太一

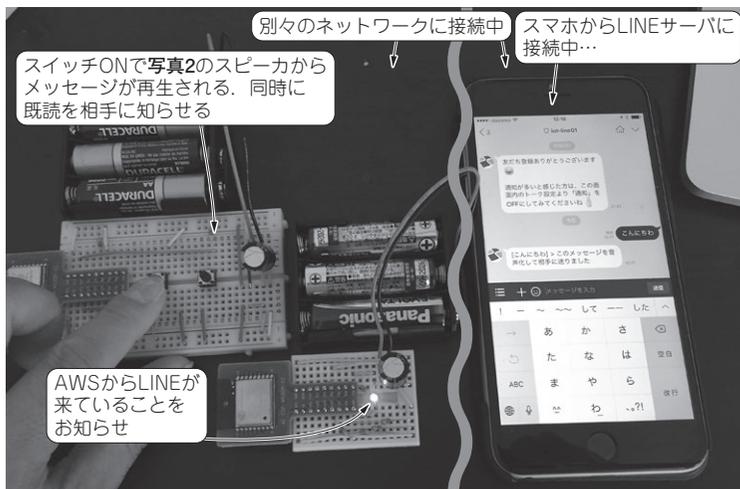


写真1 自作IoT端末でLINEする



写真2 LINEメッセージはスピーカで読み上げる

## 実験すること

LINEからメッセージを送ると、IoT端末でLEDが点灯し、メッセージが届いたことを通知してくれます(写真1)。IoT端末で再生ボタンを押すと、LINEから送ったメッセージをラズベリー・パイが読み上げてくれます(写真2)。さらに、再生ボタンを押したときには、送信側に「メッセージ聞きました」という既読通知を送ります。スマホを持っていない家族とでも、LINEでやり取りできます(図1)。

## ● IoTでLINE操作できると広がる世界

AWSからLINEを操作できるようになると、例えば次のような応用が考えられます。

- ラズパイやマイコンの設定変更
- お店の予約やクーポン発行
- LINEで送った写真をGoogle Cloud Printで印刷
- LINEで送った写真を誰が何が写ってるか、笑っている/怒っているなどを自動的に仕分けする
- 部屋の照明や鍵の開け閉めなど家のコントロール
- ドローンやロボットを遠隔で動かす

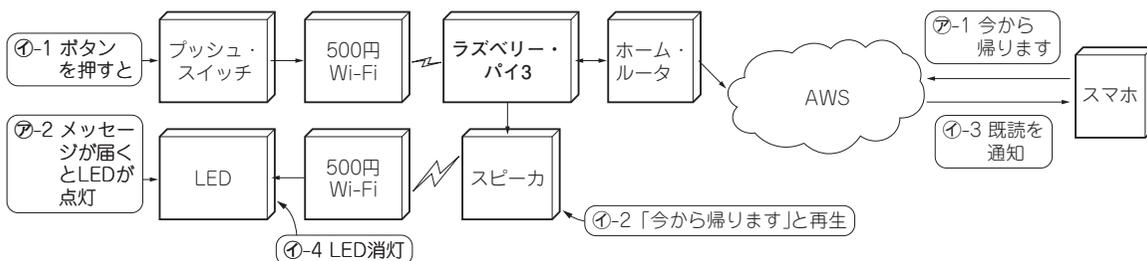


図1 自作IoT端末でLINEするための構成